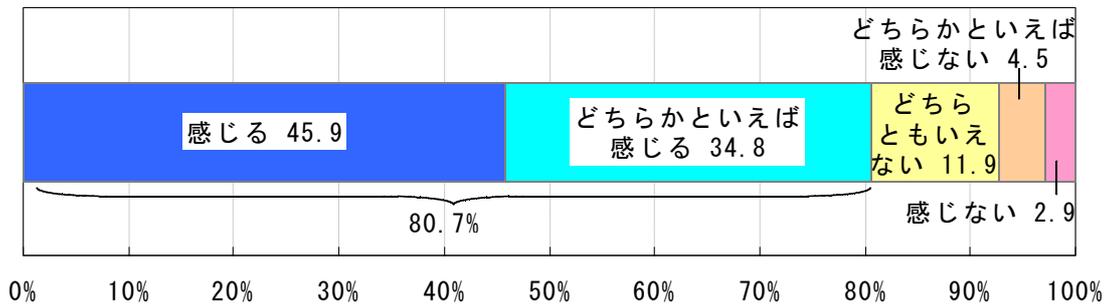


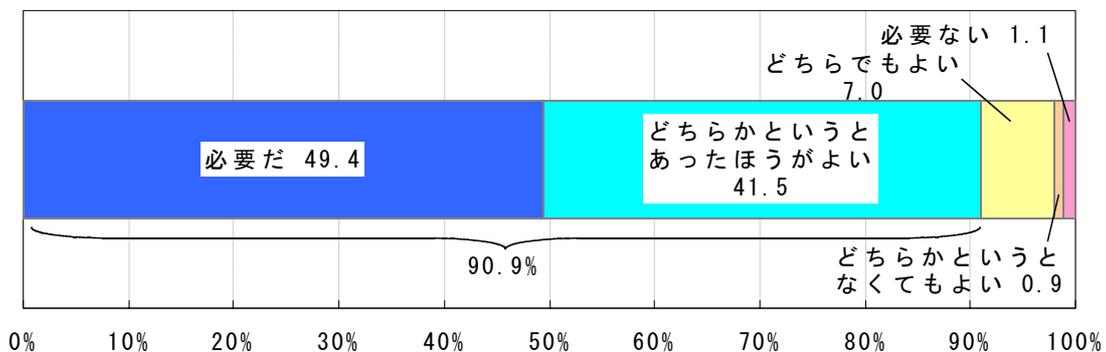
住宅の瑕疵担保責任に関するアンケート (速報値)

住宅の瑕疵担保責任に関して、約1万人のインターネットアンケートを実施。
 約8割の国民が、欠陥住宅に対する不安をある程度感じている。
 約9割の国民が、住宅瑕疵保証責任保険について、一定の必要性を感じている。
 約8割の国民が、自己負担が生じても、一定の保険を義務づけるべきだと考えている。

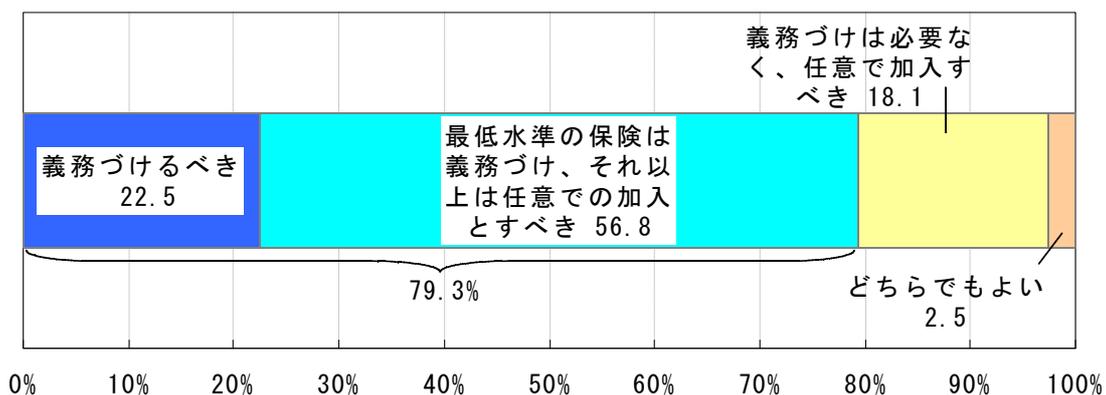
Q. 1 あなたは、万が一、自分の住まいに欠陥が発生した場合、適切な保証が受けられないのではないかと不安を感じていますか。



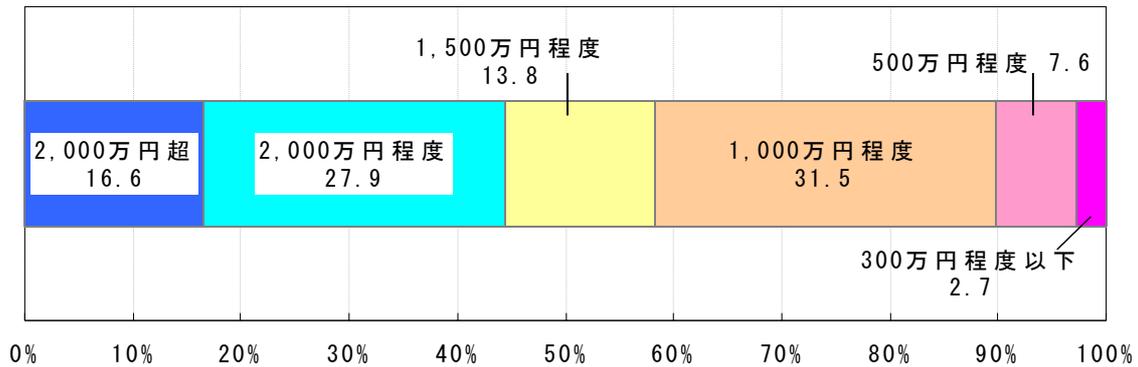
Q. 2 新築住宅の「住宅瑕疵保証責任保険」は必要だと思いますか



Q. 3 自動車・バイクの自賠責保険（強制保険）のように、一定の費用負担が発生するとしても、新築住宅の「住宅瑕疵保証責任保険」への加入を法律で義務づけることについてどう思いますか。



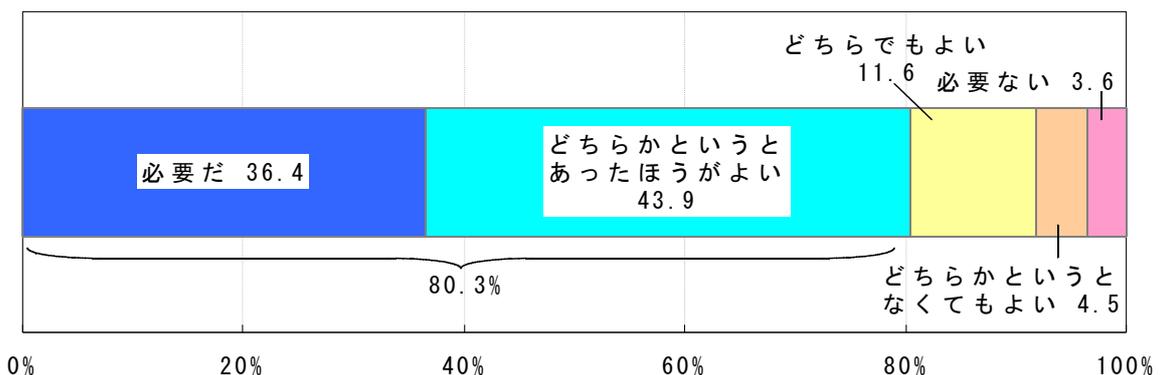
Q. 4 「住宅瑕疵保証責任保険」によって、最低限、いくら程度までが補償されると良いと思いますか。



Q. 5 あなたが新築住宅を取得すると仮定した場合、10年分の「瑕疵保証責任保険」の制度加入費用は、保証期間10年間でどの程度なら負担できますか



Q. 6 法律で新築住宅の「住宅瑕疵保証責任保険」への加入を義務づけると仮定した場合、故意・重過失による欠陥についても、一定の費用負担のもと消費者保護（修繕費用が支払われる等）を図る仕組みが必要だと思いませんか。



調査日時：2006年06月16日（金）～19日（月）
 配布数：65,537件
 回収数：10,946件
 回答者：20歳以上の男女（男性 約54% 女性 約46%）
 地域：全都道府県